

孫の手通信

創刊号

発行人
江川次郎
株式会社
エガワ

最近お客様から寄せられるようになった

暮らしの中の「ちよつとした困ったこと！」

エガワは、その声に応えるために社内に勉強会を設けました。

今日はその勉強会について、社長の江川次郎に話を聞きました。

聞き手 江川秀生

—勉強会のきっかけは？

「お客さまの『冷蔵庫を動かしたい』の一言です。『皆さん、こんなチヨツトしたことで困っているんだ』と、それに社員からも、同じ様なことがあつたと聞いて勉強会を決めました。専務は？」

—ええ、僕もあります、最近の高い場所の電球を換えた！

成る程、僕の時「冷蔵庫の後ろに落ちた物を拾いたいけれど重くて動かせない。ジローさんいつでも良いのでお願いできないか」と、もちろんすぐには伺ったとしても喜んでいただけなかった。「この時「息子を呼ぶわけにはいかないし、知らない人に頼むのは嫌だし」という言葉と、そして昔のことを思い出した。」



江川次郎

—昔のこととは？

「ヒデちゃんも知っているとおりエガワは桶屋から始まった。僕は職人さんの仕事を見るのが好きで風呂桶と一緒にリヤカーに乗せてもらい、よく付いて行った。風呂の据え付けが一段落した後、職人さんはお客さんに頼まれてちよつとした力仕事や、包丁を研いであげたり、とても喜ばれていたのを覚えてる。」

—今で言えば便利屋さん？

「似てるけど違うと思う。お客さんは、職人の腕も人柄の良さもよく知っており信用していた。職人さんは、僕には何でも出来るスーパーマンの様に覚えて憧れの存在。カッコよかった。」

—普段からのお付き合い、それが信用を生むんですね？

「そうだと思えますね。時代が今とは違うと言うかも知れないけれど、人と人とのつながりは不変だと思ふし、考えたらエガワの仕事は、昔の桶屋と何も変わらない。我々はこの下北沢でガス、水廻りのことなど暮らしの基本を仕事にしています。お客さまの家の中に入って仕事をさせていただく。だからこそ技術はもちろんのこと、人に親切、優しいという人間として基本の資質が問われると思っています。」と話の途中で仕事に出かけた社長ですが、

「お年寄りだけでなく、若い人も誰でも困ったことがある。エガワは、その困ったことのお役に立ちたい。この下北沢のため、この街に住む人のために何が出来るか皆で勉強しましょう。我々エガワは桶屋に、原点に戻る。」と言う話でした。「孫の手クラブ」で何が出来るか、皆様のお知恵も私たちにお貸しください。」

田村真澄と江川秀生が福祉用具専門相談員の資格を取るために研修中です。ご期待ください。

ALL TOKYO GAS
エネフィット エガワ

ガス・パツ・チョ!

ロイヤルカスタマーイベント
「ガス・パツ・チョ プレミアム・フェア」

ご招待
エネフィット エガワ

「築地市場 お買い物体験」バスツアー開催!

先着30名様

9月29日
(金)

- 集合場所 : 井の頭線新代田駅前(環七沿い)
- 集合時間 : 9:00~18:30頃解散予定
- 昼食 : 「銀座クルーズクルーズ」でお楽しみいただきます。
- 昼食後 : 渋谷セルリアン東急ホテル「ガス・パツ・チョ プレミアム・フェア」ピアノ演奏とお飲物でおもてなし。

定員、先着30名様。お申し込みは、3469-3311 エネフィットエガワへお早めに!